

教科用図書採択参考資料綴り

教科名 家庭

調査研究報告書

(小委員会名： 家庭)

1. 調査研究の経過及び内容	<p>【6月14日～7月7日】</p> <ul style="list-style-type: none">・調査研究の日程、調査観点を確認した。・採択参考資料作成の観点にそって、各委員が各教科書の特色について調査研究を実施した。 <p>【7月8日、10日】</p> <ul style="list-style-type: none">・各自の調査結果についての意見交換を行った。・学習指導要領との関連をはじめとする、主体的・対話的で深い学びの実現への対応、新しい教育内容との関連の他に、児童の立場に立って、わかりやすさ、見やすさ、大きさ等について協議した。・協議事項を整理し、観点に基づいてまとめた。
2. 調査研究の具体的資料	<ol style="list-style-type: none">1 教科書編修趣意書2 採択参考資料3 学習指導要領解説4 その他（内容解説資料）
3. 少数意見等	

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第5,6学年・家庭	家庭 501	新しい家庭5・6
取 扱 内 容	<p>○学習指導要領の総則及び教科の目標を踏まえ、次の内容が適切に取り扱われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動が行われるように各大題材の最初に「家庭科の窓」を設置し、見方・考え方を意識して学習を進められるよう配慮されている。 ・主体的・対話的で深い学びを実現するために、全ての大題材を三つのステップで展開し、問題解決的に進められるようにしている。ステップ3と「活動 深めよう」では学習内容を生活に結び付け、学習の中で、他者との交流を図り、解決できるよう工夫がされている。 ・「家族・家庭生活についての課題と実践」については、「生活を変えるチャンス！」を設けて、児童が家庭や地域で実践できるよう実践の進め方や課題例が掲載され、計画や実践のイメージが持ちやすく工夫されている。 ・家族や地域の人々との関わりや工夫を視点にした題材が適切に設定されている。 			
排 内 列 容 の 分 構 成 等	<p>○学習内容を23の大題材、45の小題材で構成し、「自分にできそうな家庭の仕事を見つけよう」や「手ぬいのよさを生活に生かそう」などの基礎的な学習をした後に、「1食分の献立を立てて、調理しよう」や「計画を立てて、工夫して作ろう」など基礎的・基本的な知識及び技能を応用的な教材で活用するなど、2年間を通して、系統的・発展的に学習することができるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「A家族・家庭生活」は25頁、「B衣食住の生活」は87頁、「C消費生活・環境」は8頁、「A家族・家庭生活及びB衣食住の生活」は8頁、「B衣食住の生活及びC消費生活・環境」は17頁、「その他」はなく、総頁数は145頁で、前回より約12%増となっている。(判型はA4判)</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○「環境」「日本の伝統」「日々の備え」などのマークや「資料」「プロに聞く」などのコラム欄を掲載することによって興味・関心をもたせたり、キャラクターを配置して学習活動を促したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○巻末資料「いつも確かめよう」では、実寸大写真を掲載し、初めての実習が安心して安全に行えるよう工夫がなされている。</p> <p>○独自のユニバーサルデザイン教科書体を使用したり、色覚の多様性に配慮したりするなどユニバーサルデザインを実現し、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ※小学校用教科書目録(平成32年度使用 文部科学省)による</p> <p>○Dマークのあるところでは、URLにアクセスして動画資料を利用した学習ができるようになっている。</p>			

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	9・開隆堂	第5,6学年・家庭	家庭 502	小学校 わたしたちの家庭科5・6
取扱内容	<p>○学習指導要領の総則及び教科の目標を踏まえ、次の内容が適切に取り扱われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動が行われるように4つの見方・考え方を四つ葉のクローバーで表現し、案内役のキャラクターのふきだしを配置することで、見方・考え方を意識して学習を進められるよう配慮されている。 ・主体的・対話的で深い学びを実現するために、学習の進め方を三つのステップ・題材構成で示し、児童が題材を通して見通しを持ち課題に取り組めるよう工夫がされている。児童同士で意見を交換できるような学習活動を多数取り入れ、自らの考えを広げ深める学習ができる仕組みになっている。 ・「家族・家庭生活についての課題と実践」については、「レッツ トライ生活の課題と実践」を設け、児童が家庭や地域で実践できるよう実践のステップや課題例が掲載され、計画や実践のイメージが持ちやすく工夫されている。 ・家族や地域の人々との関わりや工夫を視点にした題材が適切に設定されている。 			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等				
排内列容・の分構成量成等	<p>○学習内容を22の大題材、59の小題材で構成し、「生活を支える家庭の仕事」や「手ぬいを生活に生かそう」などの基礎的な学習をした後に、「1食分のこんだてを立てよう」や「目的に合ったふくろを作ろう」など基礎的・基本的な知識及び技能を応用的な教材で活用するなど、2年間を通して、系統的・発展的に学習することができるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、「A家族・家庭生活」は25頁、「B衣食住の生活」は42頁、「C消費生活・環境」は8頁、「A家族・家庭生活及びC消費生活・環境」は4頁、「B衣食住の生活及びC消費生活・環境」は46頁、「その他」は12頁あり、総頁数は137頁で、前回より約20%増となっている。(判型はA B判)</p>			
使用上の配慮等	<p>○「環境」「消費」「防災」などのマークや「参考」「学習内容にかかわる人」などのコラム欄を掲載することによって興味・関心をもたせたり、キャラクターを配置して学習活動を促したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○題材のとびらに生活の様々な場面を想起することができる写真や挿絵を掲載し、児童が興味・関心を持って学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。</p> <p>○実習や製作などの手順は横流れのデザインで統一したり、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど、特別な配慮を必要とする児童への便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ※小学校用教科書目録(平成32年度使用 文部科学省)による</p> <p>○QRコードを読み取ると動画資料を利用した学習ができるようになっている。</p>			